

旧 仙台医学専門学校六号教室
〈東北大学魯迅の階段教室〉

MAP
02

建 築 年：明治37(1904)年
構造階数：木造平屋建
延床面積：135㎡



歴史的な佇まいが静かに語りかけてくる偉人の情熱



仙台医学専門学校の敷地内に博物・理化学教室として建てられた。

外壁は白色ペンキ塗りの南京下見板張り、破風が付いた瓦葺屋根で、縦長の窓を持つ。内部は講壇と階段状に上がる造り付けの机・椅子を備える階段教室となっている。建築当初は現在の向きから180度回転した形で旧仙台医学専門学校博物・理化学教室(東北大学本部棟3)の東側に接続した1つの建物であった。大正13(1924)年頃に切り離され南側に移設、さらにその後の昭和10(1935)年頃、約180度回転した形で西に移設され現在の場所に配置された。中国の文豪魯迅こと周樹人も、仙台医学専門学校に留学した際、この教室でも学んでいる。この教室ではドイツ語・物理学・化学など基礎科目の講義が行われていた。明治37

(1904)年から約1年半の留学の間に、彼はこの地で生涯最も敬愛する藤野先生と出会い、また日露戦争の幻灯(スライド)等をきっかけに、医学の道から文学の道へと大きく舵をきることとなったという。魯迅が学んだ教室が残されていたことは1998(平成10)年に江沢民主席が仙台を訪れる契機にもなっており、現在も中国から多くの人々が訪れている。日中の交流の歴史という側面から見ても、貴重な建築といえるだろう。



撮影：明治43年

{ ARCHITECTURE INFORMATION }

- 01 現在は旧仙台医学専門学校博物・理化学教室の南側に隠れるように位置している。東側正面には博物・理化学教室との結合部であった跡が残る。
- 02 造り付けの机と椅子が、東から西へと上るように階段状に配されている。魯迅は中央、前から3列目によく座っていたという。
- 03

- 05 文豪魯迅が恩師と崇めた藤野厳九郎教授。藤野教授は主に解剖学の講義を受け持ち、魯迅のノートに朱書きで懇切丁寧に添削したという。